

就職体験談

卒業生氏名：丁 雪明

卒業年度：2025年3月

卒業学部：中部学院大学 人間福祉学部人間福祉学科

私は、2025年3月に中部学院大学人間福祉学部人間福祉学科を卒業した丁雪明です。今回は日本で就職活動の過程や経験についてお話ししたいと思います。

まず、留学生にとって就職に大切なことは、日本語能力だと思います。就職活動や職場では日本語でのコミュニケーションが必須です。留学生を採用する時に基準とされるものは、日本語能力資格です。そのため、私は就職活動を始める前に、N1取得を目指し、合格することができました。

2年生の時には、大学の留学生支援課の先生が紹介してくださった有給インターンシップに参加しました。インターンシップに参加することは、就職活動において、非常に有益な経験となりました。実際に現場での業務を経験することにより、日本のビジネス文化や職場環境を理解することができました。これは、就職活動を有利に進めるための大きなステップでした。自己PRの強化にもなったと思います。

私は、3年生の時に、本格的に就職活動を始めました。関心のある会社の説明会に行き、エントリーを出して、面接を受けました。就職活動をする間、先輩留学生の経験談を聞いたり、大学のキャリア支援センターを訪問して、先生方から面接のご指導を受けたりしました。事前に日本企業文化や就職活動の習慣に適応することも重要だと思います。

最後に、もし将来の会社を選択することに悩んだら、この先何をやりたいかが重要です。自分が社会に出てから、何をしたら社会や会社に貢献できるかが、自分自身の能力の発展につながると思います。

以上は私の就職過程と経験です。皆さんの未来が明るく、素晴らしいものになることを心から願っています。自信を持って、自分の道を進んでください！頑張ってください！